

科 目 名

情報処理応用 Information Processing Application

3年 後期 2単位 選択

村 上 泰 浩

概 要

「情報処理」科目では、コンピュータを利用した情報処理の基礎、コンピュータの構成、プログラムの基本について講義を中心に行った。コンピュータは実際に手で触れて、操作・体験しなければ、情報（データ）の流れを把握することはできない。この科目では、各自がパソコンに向い、市販のアプリケーションソフトを操作することにより、コンピュータ及び周辺機器の動作、データの扱い方等について体験を通じ学ぶ。表計算、CAD 等のアプリケーションソフトは、同種のソフトであっても個々にその操作が異なる。それぞれの操作手順をマスターすることを目標とするのではなく、データの流れ、コンピュータが行う（行える）処理とその操作法を理解する。

目 標

市販の表計算によるデータ処理の方法、CAD ソフト JW-CAD を使って、建築平面図の描き方の習得

授業計画

テ ー マ	内 容
① データ処理ソフト	プログラミング言語と表計算ソフト
② EXCEL 実習 1	表計算ソフト EXCEL の基礎構造
③ EXCEL 実習 2	データ入力、文字の修飾、表の作成
④ EXCEL 実習 3	データ処理・分析（関数、条件判断文）
⑤ EXCEL 実習 4	グラフ作成、回帰分析
⑥ CAD とは	CAD・CG とは、建築における CAD・CG の利用
⑦ CAD ソフト操作手順	建築 CAD の起動、線・図形の描き方等の実習
⑧ CAD 実習 1	レイヤの概念、基準線の描き方
⑨ CAD 実習 2	壁、柱の描き方
⑩ CAD 実習 3	窓、戸、家具の描き方、寸法線、文字の描き方
⑪ CAD 実習 4	寸法線、文字の描き方、印刷方法
⑫ CAD 課題実習 1	建築 CAD を利用して各自の設計した平面図を描く
⑬ CAD 課題実習 2	”
⑭ CAD 課題実習 3	平面図の仕上げ、印刷

授業方法

実際に各自がパソコンを操作し、例題、課題の実習を中心に行う。

評価方法

出席率を重視し、課題の提出内容により判定する。

教 材

教科書：教材テキスト

履修上の注意

「情報処理応用」では、「情報処理論」で行ったデータ処理を、より視覚的に行う事ができる表計算ソフトを用いる。コンピュータ上でのデータの取り扱いの基本の説明は行わないので、「情報処理論」を履修していることが望ましい。